



登録医療機関ご紹介

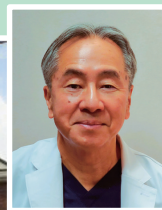
いしぐろクリニック

名古屋市北区にある地域密着型の医院です。
内科・循環器内科・小児科を中心に、
お子様からご高齢の方まで幅広く対応しています。
平日だけでなく土曜日午前中も診療
を行っておりますので、お忙しい方も安心してご来院いただけます。
皆様の健康な毎日をサポートする
「かかりつけ医」として、地域の皆様のお役に立てるよう努めて参ります。
どんな事でもお気軽にご相談ください。

〒462-0007
愛知県名古屋市北区如意2丁目118
TEL：052-903-1133

医療法人 いしぐろクリニック

内科、小児科、循環器内科



理事長：石黒 良明

	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	●	●	●		●	●	
16:30-19:00	●	●	●		●		

休診日：木・日・祝
備考：土曜AMのみ 臨時休診あり



※「登録医療機関ご紹介」への掲載希望がございましたら地域医療連携センター佐藤までご連絡ください。

今年度より、地域医療連携センターが新体制となりました。

上段左より
相談支援主幹：高垣 晃子
退院支援主査：中野 みさ
地域連携主幹：佐藤 紫帆
診療連携主査：杉浦 妙子
画像診断主幹：人見 栄一

下段左より
西部医療センター病院長
地域医療連携センター室長：
大原 弘隆
西部医療センター副院長
地域医療連携センター長：
稲田 充



ご意見ご要望等
ございましたら、
お気軽にお問い合わせ
ください。

よろしくお願いいたします。

※西部医療センターへの電話かけ間違いにより、一般の方へご迷惑をお掛けする事象が発生しております。
ご連絡の際は、電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願い申し上げます。



名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1
TEL：052-991-8121（代表）

▼ 地域医療連携センター直通（診療予約専用）

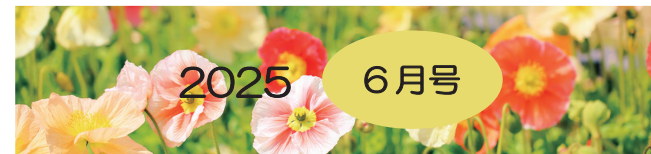
TEL：052-991-8145
FAX：052-856-0049

<https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/seibu/>



西部医療センター地域医療連携 NEWS 2025年6月号
〈編集担当〉地域医療連携センター 佐藤紫帆 浅井瑞葉

名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター 地域医療連携 NEWS



2025 6月号

◆目次◆

泌尿器科ご紹介	1・2・3
登録医療機関ご紹介《いしぐろクリニック》	4
地域医療連携センターからのお知らせ	4

《基本理念》

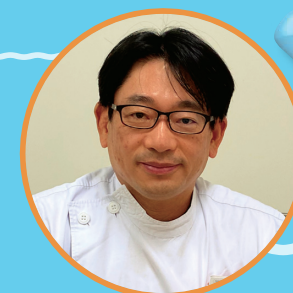
地域に根差した大学病院として、
高度かつ安心な医療を提供するとともに
優れた医療人を育成します。



患者さんと職員の笑顔がみられる病院

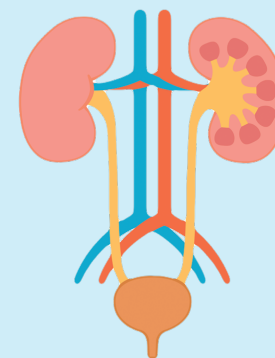
泌尿器科ご紹介

当院は日本泌尿器科学会の専門医教育施設に認定されており、疾患によって適宜名古屋市立大学病院、東部医療センターと密に連携を取り、泌尿器科疾患すべてにわたって治療が行える体制であります。
お気軽にご相談ください。



副病院長
泌尿器科部長
生殖医療センター長
梅本 幸裕

特徴



前立腺検査・・・腫瘍マーカー測定、前立腺針生検は経会陰から施行。
2025年度からtarget生検を予定。

腹腔鏡手術・・・2名の腹腔鏡下技術認定医での治療。2021年10月より
行っているロボット手術では、3年間でおおよそ140例
の手術を施行。

男性不妊症治療・・・男性不妊症の認定施設として手術、内服治療

泌尿器科がん・・・手術、内服治療、抗がん剤治療、免疫治療と多岐に
わたり新規で適応となっている多剤併用治療を積極
的に行っている。
放射線科、陽子線科と連携して治療に当たっている。

専門領域・・・泌尿器科一般 泌尿器科がん治療 生殖医療

主な対象疾患

泌尿器科がん

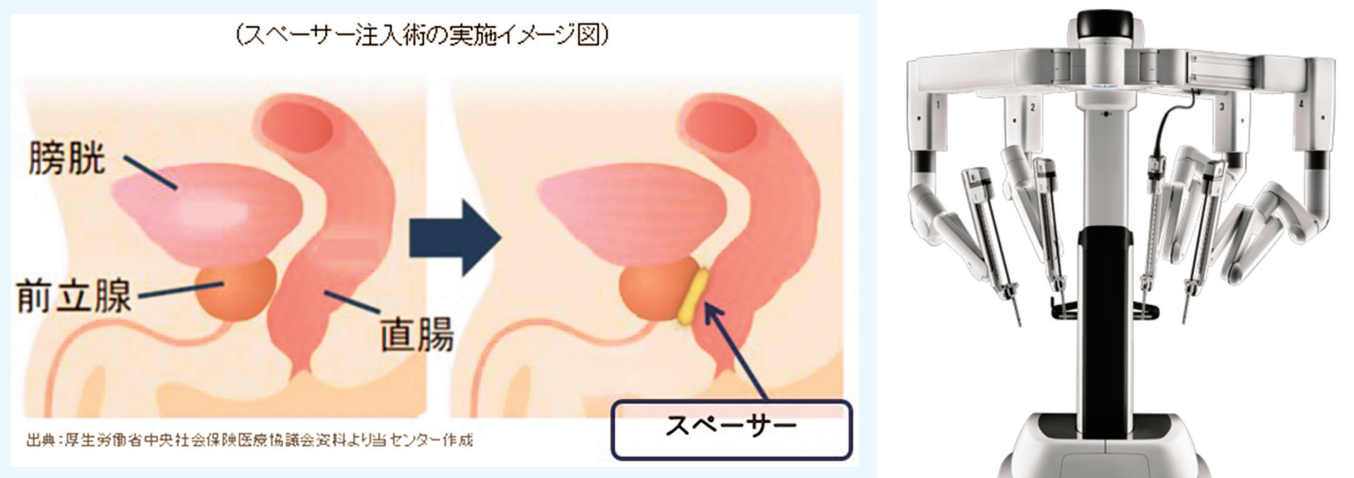
尿路結石

男性不妊

排尿障害

■ 泌尿器科がん

西部医療センターでは泌尿器科がんに対してさまざまな治療法に取り組んでおります。2011年の開院当初から前立腺がんに対して陽子線治療を行い、全国トップレベルの治療成績となっております。直腸への副作用軽減のために、前立腺と直腸との間に長期間で吸収されるハイドロゲルと呼ばれる物質を注入することで直腸炎の軽減も実現しております。陽子線治療の適応でないがんに対しての放射線治療も行っております。また、2021年10月からはロボット手術も導入し、前立腺がん、尿路上皮がん、腎がんといった症例に使用し、現在まで140例を超える治療を行っております。現在、化学療法の進歩も目覚ましく、免疫治療および化学療法併用治療を行っております。当院では泌尿器科がんに対してすべての治療法に取り組める体制が可能になっております。

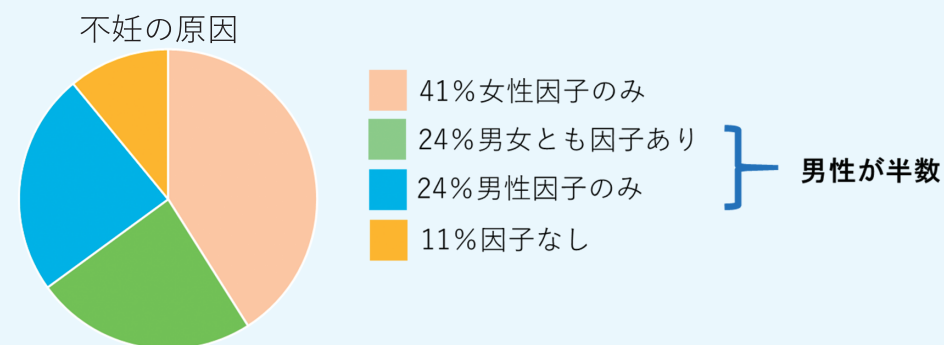


■ 男性不妊症

《男性不妊症の原因疾患》（大まかな分類）

- **精子形成障害（84%）** … ホルモン障害、精索静脈瘤、停留精巣、無精子症、染色体異常
- **性機能障害（13%）** … 勃起障害などの性交障害や射精障害、性欲障害
- **精路通過障害（3%）** … 閉塞性無精子症、精管欠損症、精巣上体炎後

男性不妊症の手術は精液中に精子がない無精子症に対して精巣内精子採取術(TESE)が行われております。また精子が少ない、動かない、体外受精でも結果が出ない、といった時にはしばしば精索静脈瘤(精巣周囲の静脈が瘤のようにはれている)が認められます。この場合、顕微鏡下精索静脈瘤低位結紮術(Varicocelectomy)を行っております。西部医療センターでは毎週この手術を行っており名古屋市立大学としては今までTESEを900例以上、Varicocelectomyを500例以上行ってきました。是非不妊に悩むカップルは男性も気軽に受診いただき、パートナーとともに治療にあたってください。



■ 尿路結石症

5mm以下の結石は自然排石を待ちますが、それ以上の大きさで痛みを伴う場合は体外衝撃波結石破砕装置（ESWL）による治療を行なっています。当院の装置はドルニエ社製の最新機種です。結石が大きく硬いものは1度の治療で砕石されないことがありますが、当院では内視鏡下碎石手術にも積極的に取り組んでおり、病状に最適な治療法の選択が可能です。ESWLは2日間の短期入院で治療が可能です。また経尿道的尿管結石破砕術（TUL）も積極的におこなっております。



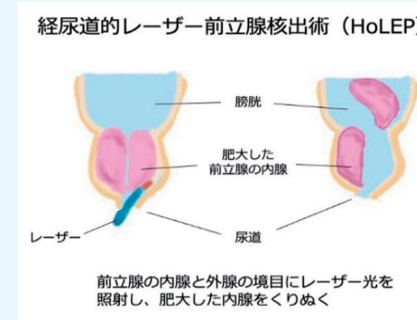
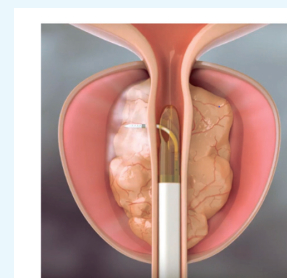
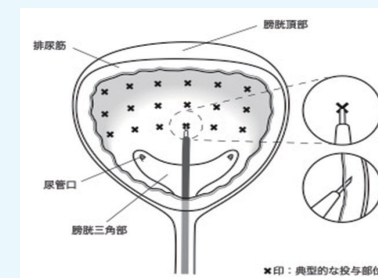
■ 排尿障害

《尿の勢いがいい…》

中高齢の男性の尿の勢いが低くなる原因は前立腺肥大症が多いです。薬物療法で効果が不十分な場合、当院では前立腺肥大症に対してレーザーを用いた手術（前立腺レーザー核出術）や低侵襲の水蒸気を用いた手術（WAVE）も行っています。

《トイレが近い…》

トイレが近くなって、我慢ができなくなってしまう病気を過活動膀胱といいます。薬物療法で改善しない難治性過活動膀胱に対して、当院では新しい治療法であるボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法を行っています。合併症は少なく有効率の高い治療です。



■ 小児泌尿器

【小児泌尿器科外来】 月曜日午前

小児泌尿器科では、小児科、小児外科、泌尿器科、麻酔科、放射線科などの関連部署と名古屋市立大学病院が密に連携し治療を行っています。

また、停留精巣や尿道下裂の手術を受けたお子様が父親になれるように「泌尿器科不妊チーム」がサポートしています。

治療を受けたお子様、ご両親が安心できるよう、小児期の医療だけでなく、将来にわたって腎機能・生殖機能・排尿機能・性機能を守る成育医療を心がけています。

【診療疾患】

水腎症、膀胱尿管逆流、異所性尿管、尿管瘤、後部尿道弁、停留精巣、尿道下裂、病的包茎、先天性副腎過形成、性分化疾患、神経因性膀胱(二分脊椎など)、昼間尿失禁、夜尿症などの排尿異常 など

歯科口腔外科 NEWS



梅雨の候、先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、4月よりスタートいたしました新体制も、おかげさまで2か月が経過いたしました。このたび、歯科口腔外科に新たに加わりました先生方をご紹介します。

new face



まつやま かえで

松山 楓

出身は愛知県で、愛知学院大学歯学部を卒業いたしました。臨床経験は4年目となり、まだまだ学ぶことも多く、日々精進しながら診療に取り組んでおります。患者様一人ひとりに寄り添い、丁寧な診療を心がけてまいります。ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

Like 買い物やカフェ巡り、韓国ドラマを観ること

出身は東京で、日本歯科大学を卒業し、大学時代はバスケットボール部に所属しておりました。

まだまだ学ぶことの多い毎日ですが、目の前の患者様一人ひとりと真摯に向き合い、丁寧な診療を心がけてまいります。ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

Like 旅行やカフェ巡り、サウナ、運動など

new face



さきさか ゆり

向坂 友里

両名とも、誠実かつ熱意を持って診療に取り組んでおり、今後の活躍が大いに期待されます。何卒、温かくご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

seminar

第17回 周術期口腔機能管理セミナーのご案内

開催日：2025/7/3（木）18：00～

場所：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 2階大ホール

演者：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

血液・腫瘍内科 金森 貴之 先生

演題：「急性骨髄性白血病治療のパラダイムシフト」



菱田 純代



堤 康輔



谷口 弘樹



加藤 伸一郎